

日本列島情報ネット

関西版

〒550-0044
大阪市西区朝本町
1丁目15-10(森田ビル)
電話・06(6445)6935
FAX・06(6445)6938

小田鉄工

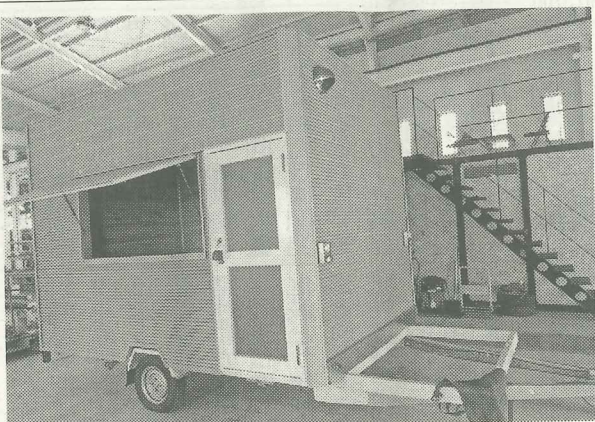
トレーラーハウス製作事業開始

事業の柱として受注増図る

Mグレードファブの小田鉄工（本社・兵庫県加西市、社長・小田岳人氏）は新規事業としてトレーラーハウスの製作を開始し、事業化と受注増を目指している。同社が主に製作するトレーラーハウスは、自動車でけん引可能な小型の移動式タイプ。用途としてキッチンカーや移動販売の店舗、事務所、グランピング、セカンドハウス、ホテルなどを想定している。さらに近年増加している大規模災害時にも、緊急時の避難所や診療所などの医療スペースとして活用が期待される。



小田社長



トレーラーハウスの外観と内観。こだわりの空間を作りたユーザーのニーズに応える

「オーダーメイドのこだわりの空間をカスタマイズのニーズに応えるものを提供する。すでに展示会にも出展しPRに努めている。同社の2023年11月期の売上高は約3億円で、月間扱い量は約100〜150ト。売上高のうち、橋梁関係の吊り天秤など仮設資材が約6割、建築の胴縁が約3割、その他に鉄骨などが占める。直近では万博関連の明細で国内、海外パビリオンの建築部材の加工製品を提供している。今後は輸送関係（トレーラーハウスなど）の売上高の割合を高めていく方針だ。

大阪金属リサイクル工業協組 中小企業団体大阪大会で表彰

多屋副理事長と河東事務局長

（伸生スクラップ社長）おおさか（大阪市中央区）で開催された中小企業団体中央主催の第66回中小企業団体大阪大会で表彰された。多屋副理事長は2012年5月から今年5月まで理事長を務め、組合活動および業界の発展に寄与してきたことなどで「組合経営功労者」として表彰された。河東事務局長は約25年間、同組合の事務局として尽力してきたことなどで「組合事務局優秀専従者」として表彰された。河東事務局長はスクラップ業界団体の事務局職員として通算約32年間にわたる業界団体活動への貢献を継続している。そのほか、鉄鋼業界



上から、表彰される河東大阪金属リサイクル工業協同組合事務局長、佐野大阪府鉄構建設業協同組合理事長

カネヒラ鉄鋼 現状と展望を聞く

特殊鋼は、需要全体が低調で、店売り販売も厳しい状況が続いている。年度下期についても、需要回復に期待する向きは多いが不透明感が強い。そこで構造用鋼大手流通、カネヒラ鉄鋼（大阪市西区）の土井泰博社長に今後の見通しを聞いた。

（橋川 渉）

――まず足元の販売状況は。

「好調な需要分野が、度的に需要期とされる見当たりず、販売量は低調だ。当社の上期（2〜8月）の販売量は、前年同期比で5%減少した。それも一時100円に達した円安の影響で輸出が伸び、国内販売が落ちたため、国内販売が伸び、全体が上向けをみるに苦戦している。このまま先となりそ

うだ。建築も大型物件は計画通りに工事が進んでいるが、中小物件は建設コストの上昇などで着工が遅れているケースが多い。

土井泰博社長



――自社の通期の販売見通しは。

年度下期の特殊鋼需要見通し

回復期待も好材料に乏しい

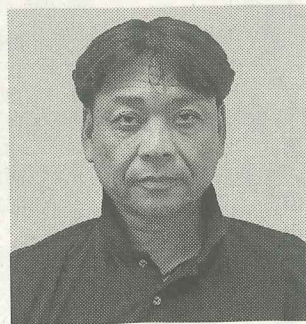
採算重視で価格維持に注力

「特殊鋼の最大需要回復することはないと見ています。あくまで私見ですが、円安の影響で輸出が伸びたが、足元1140円台と高コストが上向いている。国内でも期待で、採算重視で現状の価格を極力維持して

関西

ひと

滋賀県鉄構工業組合 理事長に就任した 大井 民生氏



5月22日の総会で第10代理事長に就任。「疑問に思っていることがあれば共有して、解決に結び付くような意義のある場にしたい」と抱負。滋賀県鉄構工業組合は、鉄骨製作工場の認定受託者の指導および教育の場として、組合員同士の情報交換をきっかけに、各員の経営や技術の改善を促している。

「DXや働き方改革、インボイス制度など、組合員同士の開業や試験の案内、種資格取得のための講習会などを開催する。組合員数の減少を懸念している。組合員数で、そのうち特約店メーカーなどの賛助

に「組合員数で、そのうち特約店メーカーなどの賛助